

令和元（平成31）年度

事業報告

法人運営部門

法人全体の管理・他の部門が事業を遂行しやすい環境をつくる

重点目標に対する総合評価

社協の役割などの共通認識を醸成するため、役職員を対象とした研修会を実施した。また、毎月の定例会議や係長会議を通じて、部門及び職員間での情報共有に努めた。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月末に開催予定だった評議員会については、法令に則して、決議の省略により実施した。

組織管理

1 会員の募集

法人の目的に賛同していただいた方に、1口500円の会費を募る。また、集められた会費は地域福祉活動に有効活用する。

ア. 一般会員 4, 210戸（貞光 1,968戸・半田 1,808戸・一字 434戸）

イ. 特別会員 28名（理事 11名・監事 2名・評議員 15名）

2 理事会の開催

開催概要	審議内容
第1回 理事会 日 時 令和元年5月29日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事9名・監事2名	平成30年度 事業報告及び収支決算の承認について（監査報告） 平成31年度 補正予算（第1号）について 平成30年度 社会福祉活動助成完了報告の承認について 発展・強化計画（第2期）の進捗状況について 第1回 評議員会の開催日時及び場所、議題（案）について
第2回 理事会 日 時 令和元年6月25日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事9名・監事2名	会長の選任について 副会長の選任について
第3回 理事会 日 時 令和元年9月24日 場 所 地域拠点センター 参加者 理事9名・監事2名	専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出） 職務執行状況報告 就業規則の一部を改正する規則について 苦情解決第三者委員の選考について 第15回 つるぎ町福祉大会について

<p>第4回 理事会</p> <p>日時 令和2年3月9日</p> <p>場所 地域拠点センター</p> <p>参加者 理事11名・監事2名</p>	<p>専決処分の承認について（令和元年度 補正予算 第2号）</p> <p>専決処分の承認について（生活困窮者一時立替金の支出）</p> <p>専決処分の承認について（職員給与規程の一部改正）</p> <p>職務執行状況報告</p> <p>定款の一部を改正する定款の承認について</p> <p>令和2年度 事業計画 及び 予算の承認について</p> <p>令和2年度 社会福祉活動助成の承認について</p> <p>生活困窮者一時立替金の徴収不能処分について</p> <p>第2回 評議員会の開催日時及び場所、議題について</p>
---	--

3 評議員会の開催

開催概要	審議内容
<p>第1回 評議員会</p> <p>日時 令和元年6月18日</p> <p>場所 地域拠点センター</p> <p>参加者 評議員 14名</p> <p style="padding-left: 40px;">理事1名・監事2名</p>	<p>平成30年度 事業報告及び収支決算の承認について（監査報告）</p> <p>平成31年度 補正予算（第1号）について</p> <p>発展・強化計画（第2期）の進捗状況について</p> <p>理事・監事の選任について</p>
<p>第2回 評議員会</p> <p>決議の省略 評議員 15名</p> <p>提案日 令和2年3月16日</p> <p>決議日 令和2年3月23日</p>	<p>定款の一部改正について</p> <p>令和2年度 事業計画書 及び 収支予算書の承認について</p> <p>専決処分の承認について（令和元（平成31）年度 補正予算 第2号）</p> <p>専決処分の承認について（職員給与規程の一部改正）</p>

4 評議員選任・解任委員会の運営

開催実績は、ありませんでした。

5 福祉サービスに関する苦情解決

令和元（平成31）年10月31日の任期満了に伴い、第三者委員の選考を行いました。
 なお、苦情対応の実績は、ありませんでした。

6 発展・強化計画の進捗管理

第2期（2018年度～2020年度）計画の2年目となるが、大きな改革の成果が出ている
 とは言い難い。

7 個人情報保護に対する対応

個人情報保護規程に則し、利用者等の個人情報について適正な取扱いの確保に努めました。

人事管理

★1 役職員の研修

日時：令和元年6月25日（第2回理事会終了後）

講師：徳島県社会福祉協議会 次長 伊原 俊子 氏

内容：社会福祉協議会の役割

社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを運営する理由

平成30年7月豪雨災害における支援状況

2 職員の適正配置

事務分掌表により、職員の適正配置に努めた。

3 職員福利厚生等の充実

ソウェルクラブへの加入や、健康診断の実施等、福利厚生に努めた。

★4 職員間の情報共有

係長会議（隔月開催）や定例会議（月末開催）を通じて、情報共有に努めた。

財務管理

1 会計処理

適正な会計処理に努めた。

2 監査の実施

実施名	実施内容	実施日及び場所	参加人員
定期監査	4月～7月分 社会福祉事業（合計）	令和元年8月8日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	8月～11月分 社会福祉事業（合計）	令和元年12月13日 地域拠点センター	監事 2名
定期監査	12月～3月分 社会福祉事業（合計）	令和2年5月13日 地域拠点センター	監事 2名
決算監査	令和元（平成31）年度 4月～3月分 社会福祉事業（合計） 令和元（平成31）年度の事業報告及び会計決算	令和2年5月13日 地域拠点センター	監事 2名

3 備品及び固定資産の管理

車両・パソコン等、必要に応じた購入・廃棄など、適正な管理に努めた。

広報

1 町広報誌等を活用した情報提供

町広報誌「広報つるぎ」に掲載または同封。IP告知放送サービスを活用し、各種イベントの案内や事業に関する情報提供を実施。

2 ホームページによる広報

本会が行う福祉活動や幅広い福祉の情報を周知するため、ホームページにより情報を公開すると共に事業内容等の情報を発信している。

3 一般・特別会員への報告・周知

地域福祉活動推進部門

住民がしあわせに暮らせるよう地域の課題解決を図る

重点目標に対する総合評価

各事業を通して住民のニーズや地域の実態把握に努め、それに沿った事業展開が出来るように努めた。従来通り、必要に応じて部門間で情報を共有し、関係機関との連携を行った。

また、災害時には地域の災害ボランティアセンターの設置運営を担う社会福祉法人として、災害時対応マニュアルの見直しを進めたが、災害ボランティアセンターの設置運営に関する内容だけでなく、法人としての事業継続計画（BCP）に準ずる事項も多いため、現行マニュアルの見直しについては保留となった。地域の実情に合わせた住民主体の活動支援を継続するために、法人運営部門による法人全体としての方針が決まり次第、災害ボランティアセンターについての現行マニュアル見直しを進めたい。

個を地域で支える援助

★1 ひとり暮らし高齢者安心事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯に対して、安心生活訪問員が定期的に訪問活動を行うことにより安否確認や不安解消、情報の提供などを実施。孤独感や不安感をなくし、安心して生活できるよう住民との関係づくりに努めた。また、訪問活動を通しての相談事項について、関係機関等と連携し解決を図った。災害時の避難誘導等、支援者の有無に関するアンケートを実施、集計を行った。今後、結果を基に民生委員等と連絡・対応先の調整を行う。

令和2年3月末現在

訪問対象者数 586名（半田 214名・貞光 251名・一字 121名）

延べ訪問件数 9,024件（半田 2,555件・貞光 3,196件・一字 3,273件）

要対処相談件数 161件（半田 64件・貞光 52件・一字 45件）

相談事項	不安 解消	介護 サービス	健康 医療	家計 経済	家族 関係	社会 関係	権利 擁護	その他	合計
	47	33	12	7	0	5	0	66	170
対応策	個人	家族	地域 住民	民生 委員	民間 会社	公的 機関	行政	社協 訪問員	合計
	3	8	4	1	15	16	78	90	215

2 みんなに安心お届け事業

安心お届け専門員不在により定期訪問は行えなかったが、地域住民や民生委員からの情報・相談時に訪問し状況を確認。医療機関への受診の働きかけや介護サービスの利用、関係機関へつなぐことで生活上の課題について解決を図った。

3 生活困窮者自立支援事業（委託元:徳島県社会福祉協議会）

徳島県社会福祉協議会より相談支援員を配置。経済的に困窮している方や何らかの悩みを抱えている方の相談に応じ、解決を図るため相談者と共に目標を立て、支援・助言を行った。緊急の際には支援物資の提供・生活支援、家計相談による生活の安定・自立を促進、また関係機関との連携によるチーム体制で問題解決を図った。

○ 相談件数	19件	(相談内容)	収入・生活費	16件
			病気・障害	11件
			債務(税・家賃・ローン)	12件
			住まい	1件
			仕事探し・就労	7件

※ 相談内容は重複しており、相談件数とは異なります。

★4 顔なじみ見守りネットワーク事業

民間事業者と協定を結び、地域住民の異変等を発見したときに迅速に対応できるようにしているが、事業開始当初から相談件数が減少しており、協力業者への情報提供、情報共有の方法を考える必要がある。

- 協定締結業者数 25社
- 相談件数 4件 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

対象者	ひとり暮らし 高齢者	親子世帯	複合世帯
件数	1件	2件	1件
相談内容	認知症1件	生活環境 2件	精神面 1件

★5 安心カプセル配布事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、災害時・緊急時に必要な情報を保管する安心カプセルを配布しているが、新たな対象者への配布、情報の更新が進んでいない。

- ・申請件数 1件
- ・設置件数 1件
- ・累積設置件数 585件

6 配食（給食）サービスへの助成

ふれあい給食会を実施した際に、参加できない方に対して配食を行う地区が増えてきたため、助成額も同額であることから、事業を集約した。

7 子育てサポート事業

つるぎ町内の保育所へ出向きアートバルーンを実施した。また、美馬市が実施主体となっているファミリーサポートセンター事業におけるつるぎ町での実績は5件である。

8 スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（委託元:つるぎ町地域生活支援事業）

障害者総合支援法に規定する障がい者等の体力増強や交流に資するため、及び障がい者スポーツを普及するために開催した。

(1) 第13回 つるぎ町障がい者スポーツ大会

障がいのある方が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、体力の維持増強を図り、自立と社会参加の推進に寄与することを目的に実施。

開催日 令和元年9月29日（日）

開催場所 貞光中学校体育館

参加者 合計106名

(2) 日帰り研修

障がい者の交流と社会的な生活能力の向上を図ることを目的に実施

研修日 令和元年11月2日（土）

研修場所 藍の館、ホテルサンシャイン徳島、とくしま動物園

参加者 57名

障がい者34名、特別支援学級2名、付添9名、保健師1名、社協職員6名
ヘルパー2名（訪問介護事業所ひばり）福祉課2名、ボランティア1名

9 地域における公益的な取組

清寿会と協働し、町内の地域福祉にかかる将来的な展望を共有したうえで連携を行い「心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして」だれもが自分らしく安心して暮らせる地域づくりのため、地域福祉活動の支援、福祉の増進に寄与することを目的に地域で無料の出張講座を実施。

◇ 出張講座実績

開催日	地区	団体名	出張講座内容	派遣人数
H31.4.14	貞光	柴内部落会	体操	清寿会2名・社協2名
R1.5.10	貞光	三木朽いきいきサロン	医療看護・レクリエーション	清寿会3名・社協1名
R1.11.22	一宇	一宇婦人会	映画会	清寿会2名・社協1名

個を支える地域をつくる援助

1 いきいきサロンの支援・拡充

住み慣れた地域で近隣住民同士が定期的に集い交流・情報交換することで、孤立防止や介護予防に役立っているが、人口減少や超高齢化により中止する地区も出てきている。

(1) 開催カ所（カッコ内は前年比）

半田 12カ所（-2）、貞光 17カ所（-4）、一字 9カ所（±0） 合計38カ所

(2) 第14回 いきいきサロン担い手交流会

令和2年2月28日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

2 地域懇談会及びふれあい給食会（配食含む）

会食・配食を実施した場合、年2回まで1食あたり400円を助成した。助成実績のある地区ばかりで、新規助成地区はなかった。給食会に参加できなかった方に配食を実施する地区は増えているが、助成地区、延べ回数とも減少している。

◇ 助成実績（順不同）※丸囲い数字は回数、数字は延べ人数、カッコ内は配食数

半 田	貞 光	一 字
木ノ内南 ① 20	太 田 ② 104	葛籠・桑平 ② 29
上 蓮 ① 25 (10)	三木枋 ① 13	一 宇 ② 21 (8)
逢 坂 ② 89 (1)	宮 内 ① 14	赤 松 ② 103 (64)
高 清 ① 27 (9)	白 村 ② 30	明 谷 ① 27 (13)
日 浦 ① 29 (13)	日 浦 ① 14	須 貝 瀬 ① 25 (2)
敷 地 ① 10 (5)	広 瀬 ① 25 (7)	奥大野・川又・広沢 ① 62 (42)
西 部 ② 56 (20)	平 野 ② 36 (4)	
上 喜 来 ② 48 (28)	吉 良 ② 85 (51)	
東南・長瀬 ② 132 (48)		
小野上西 ② 75 (20)		
10カ所15回 延べ511(154)人	8カ所12回 延べ321(62)人	6カ所9回 延べ267(129)人
合計 24カ所 36回 延べ1,099(345)人		

3 地域福祉活動計画の推進

一字応能地域をモデル地区として第3期地域福祉活動計画を策定しているが、具体的な活動把握が出来ておらず、その他の地区へ波及するに至っていない。

★4 福祉推進委員との連絡調整

行政区の駐在員に対して福祉推進委員を委嘱しているが、毎年交代する地区も多く、その役割を果たしてもらうことが難しくなっている。

5 地区会活動助成金

行政区を地区会として位置づけ活動費を助成しているが、世帯数の減少や高齢化により活動の維持が困難な地区も出てきているため、福祉推進委員の委嘱とともに助成金の在り方や金額の設定方法など、現状に合わせて見直す必要がある。

6 全町一斉河川・道路清掃

全町一斉に清掃の活動の呼びかけをし、地域が一緒に活動することにより住民同士の絆を深めた。活動の時期、内容は地域によって異なる。

皆様のご協力により、7月7日（日）に全町一斉河川・道路清掃を行った。

当日は、午前8時30分より建設業協会の協力をいただき、ダンプカーを持ち込み各地区にゴミの収集を行い、町内小・中学校・西部テクノスクール及びいくつかの地区においては、別の日に実施した。社会福祉協議会としては、事故やケガなど万一のときに対処出来る傷害保険に加入している。

尚、集められたゴミの量は、可燃ゴミ 1,480 kg、不燃ゴミ 1,440 kg 合計 2,920 kgであった。

（清掃内容：河川清掃、道路の草刈り、集会所周辺の清掃等）

例年、開催している全町一斉河川・道路清掃ではあるが、地域によっては、高齢化が進み作業が負担になってきている地域が増加している。また、可燃ゴミ・不燃ゴミの回収のみとなっているが、回収の際、刈り取った草が多く、地域においてゴミを拾うという清掃ではなくなっているため、今後の検討課題としては、7月の清掃の見直し各関係機関と話し合い検討していく必要がある。

7 社会福祉大会の開催

地域住民や福祉関係者が一堂に会し、表彰を通じて地域で行われる活動を広く知らせるとともに、講演等を通じて、情報提供、福祉課題への気づき、地域活動の契機とした。

(1) 第15回 つるぎ町社会福祉大会

開催日	令和元年10月26日（土）
開催場所	貞光中学校体育館
参加者数	約367名
主 題	心豊かに住み続けたい町つるぎをめざして
表 彰 者	大会長表彰8名・大会長感謝状8名・つるぎ町長感謝状1名 ダイヤモンド婚19組・金婚8組
記念講演	あなたが主役でまちが輝く ～地域の底力のヒミツ～ 講 師 堀尾 正明 氏（フリーキャスター）

ボランティアセンター事業

- 1 ボランティアをしたい方（団体を含む。）とボランティアのサポートを求めている方（団体を含む。）をコーディネート（つなぐ）することや、各種養成講座、講演会を通じた啓発活動の実施、並びに、ボランティア活動に関する情報収集、発信などの活動を行う。

(1) コーディネート事業

ボランティアの参加を希望されている方、ボランティアグループ、ボランティアを必要とされている施設・団体、それぞれの希望内容に寄り添いながら、ボランティアコーディネートを行う。

ア. ボランティア活動に関する相談、援助、登録、紹介

イ. ボランティア派遣依頼（依頼件数 149件、派遣延べ人数 524名）

ウ. ボランティア登録（個人登録 3名、団体登録89団体）

(2) 教育事業

第15回ジュニアボランティア『寺子屋』の実施（対象：貞光中学校1年生34名）

1日目 令和元年8月20日（火）基本的事項の理解と知識・技術の習得

内容：「ボランティア講座」～手話体験をとおして～、
「体験学習」アイマスク・高齢者疑似体験、車椅子体験

2日目 令和元年8月21日（水）実地体験

内容：施設の見学、入所者とのふれあい・レクリエーション

出張福祉講座の開催

令和元年5月15日 車イス体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験（半田中学校）

令和元年11月19日 アイマスク体験（貞光小学校）

令和元年11月27日 車イス体験・高齢者疑似体験（貞光小学校）

令和2年2月3日 高齢者疑似体験・車いす体験（半田小学校）

令和2年2月21日 アイマスク体験（半田小学校）

(3) 活動援助事業

つるぎ町ボランティアセンター運営委員会の開催

第1回 令和元年5月20日（月）

内容：平成30年度事業報告及び決算について（監査報告）

平成31年度事業計画及び予算（案）について

第2回 令和元年10月18日(金)

内容：災害時の地域ボランティア研修会について

第3回 令和2年2月12日(水)

内容：災害時地域ボランティア研修会・災害時図上訓練実績報告
ボランティアセンター登録に係わる会員名簿及び提出について
来年度事業について

第36回「老後を豊かにするボランティア活動資金」助成

3団体(平野いきいきサロン・上蓮いきいきサロン・美馬西理容奉仕グループ)

(4) 広報啓発事業

ボランティア活動の普及向上のための広報啓発活動として、ボランティアセンターだより「しあわせのかけはし」を年2回発行。(内容：町内ボランティアグループの紹介・各種福祉講座の案内、イベント情報紹介など)

(5) 調査研究事業

寺子屋 アンケートの実施

(6) 基金整備事業

自主財源の確保

平成31年度つるぎ町共同募金地域配分助成金 助成決定金額 100,000円

災害時地域ボランティア研修会

開催日 令和元年12月1日(日)

開催場所 つるぎ町地域拠点センター

(参加者：研修会28名)

(7) 災害救援ボランティア事業

災害ボランティアセンター設置・運営に関すること

(8) 平成31年度災害ボランティアセンター体制整備支援事業

日時：令和元年12月8日(日)

場所：三好市池田総合体育館

参加者：116名(内つるぎ町社協職員8名)

広域ネットワークの構築に関すること

基盤整備

(9) その他、目的達成に必要な事業

「収集ボランティア」(ペットボトルキャップ・古切手)

- 2 災害ボランティアセンターにおいては、研修会・訓練への参加並びに災害時対応マニュアルの見直しを行う。

今年度マニュアルの見直しを実施していたが、具体的な行動規範等の見直しができなかったため、来年度も引き続き見直しを行う。

団体運営支援及び協力

- 1 手をつなぐ育成会

会員及び会費を町内全戸募集、賛助会費収入実績 920,700円(3,069戸)

お寄せいただいた会費をもとに、知的障がい(児)者の福祉事業として、町内小・中学校特別支援学級、町内地域活動支援センター(ハッピースマイル・すだち苑)への支援並びに年末在宅激励訪問や障がい者スポーツ大会開催時等に使わせていただいた。

- 2 共同募金委員会

徳島県共同募金会より依頼され、つるぎ町共同募金委員会を事務局として支援すると共に、つるぎ町共同募金委員会より助成を受けて、事業経費の一部として使用させていただいた。

(1) 地域歳末配分助成金

ア. ひとり暮らし高齢者等年末訪問の見舞品費(カイロ)

イ. 防災・災害対策用品の整備費

- 3 シルバー人材センター

- 4 身体障害者連合会

- 5 遺族会連合会

- 6 献血活動への協力

町内で実施される献血活動の連絡調整に協力

令和元年7月4日(木) つるぎ町役場分館前(9:30~12:30、13:30~15:30)

400ml 47名 不採血者数 7名

令和2年2月26日(水) つるぎ町役場分館前(9:30~12:30、13:30~15:30)

400ml 48名 不採血者数 7名

- 7 関係機関との連携・協働

団体活動への助成事業

1 団体への助成（財源:社会福祉基金事業）

- ア. 助成申請 5件 451,700円
イ. 助成決定 5件 451,700円（平成31年3月12日 理事会で承認）
ウ. 実施報告 5件 451,700円

2 団体への助成（財源:善意銀行事業）

善意の心を有効に活用することを心掛けてきた

払出種類	件数	備考
指定払い出し	2	
福祉活動に使用	2	敬老ハガキ, 車椅子
中学校への払い出し	1	文集作成一部助成
特別払い出し	0	
物 品	1	お菓子
合 計	6	

福祉事業に理解をもって預託いただいた善意の心

寄附の種類	件数
一般寄附金預託	3
指 定 寄 附	2
物 品	3
合 計	8

福祉サービス利用支援部門

個人に寄り添い、個人が生活のしづらさを解消するための援助

重点目標に対する総合評価

地域の福祉課題について相談があれば断ることなく受け付けているが、アウトリーチ（さまざまな形で、必要な人に必要なサービスと情報を届けること。対象者の把握だけに留まらない活動）が十分できたとは言い難い。潜在的な相談者の早期発見については、資金援助をはじめとする個別支援事業を行う中で、現状維持や回復だけを見るのではなく、支援が必要な状態にならないように予防の観点からも事業を実施するなど、地域に埋もれた福祉課題ができるだけ深刻化する前に救済できるような体制整備が必要である。それぞれの事業については円滑に実施できた。

総合相談

1 弁護士相談	予約相談	計 4回 開催	相談件数 6件
2 司法書士相談	予約相談	計 9回 開催	相談件数 12件
3 理学療法士相談	月1回	計 12回 開催	相談件数 67件

生活支援

★1 日常生活自立支援事業（委託元:徳島県社会福祉協議会）

精神障がい者1名が契約終了、知的障がい者1名が新規契約となった。

契約終了者は、県外へ転居したため契約が終了。新規契約者は軽度ではあるが、知的と精神の二つの障がい重複しており支援に困難はあるが、本人の意思を尊重しながら関係機関と協力し支えていく。

契約件数 10件（令和2年3月末 現在）

（内訳）認知症高齢者 3名、知的障がい者 3名、精神障がい者 3名、その他 1名

2 福祉用具、福祉車両、レクリエーション用具の貸与事業

老朽化により本体が破損した為、車椅子4台、特殊寝台1台を廃棄した。又、現在保有している物品も老朽化により貸与に対応できなくなる可能性がある為、購入を検討する必要がある。

福祉用具（車イス、特殊寝台）	34件
福祉車両（車イスを搭載できるもの）	8件
レク用具（カラオケ、わたがし機等）	16件

★3 チャイルドシート貸出事業

新生児から6歳未満を対象に無償貸出。事業継続を前提に、適正な保有台数について調整を行う。

種類（BC：新生児～3歳 J：3歳～5歳 ※体格により5歳以上も貸出可能）

	H30		H31 (R1)	
	BC	J	BC	J
保有台数	90	57	81	57
貸出（継続）	83	43	48	26
（新規）			31	13
在庫	7	14	2	18
廃棄	52	0	9	0
出生数	33人		20人	

4 点字・声の広報等発行事業（委託元：つるぎ町地域生活支援事業）

つるぎ町に居住する視覚障がい者に対し、情報取得の手段として、つるぎ町広報誌および暮らしのカレンダーをつるぎ町たまゆら友の会が朗読してカセットテープに録音し郵送した。

(1) 対象者 4名（令和2年3月末現在）

個人への資金援助

★1 生活福祉資金貸付事務事業（委託元：徳島県社会福祉協議会）

新規申請は1件であった。また、償還2名（3件）により、貸付件数は13名（16件）となった。

社会福祉基金（生活困窮者一時立替金）で小口貸付（上限10万円）が可能であるため、生活福祉資金の新規申請に至らないことが多い。

令和元（平成 31）年度 生活福祉資金貸付・償還状況

資金種類	H31年3月 までの 貸付件数	R1年度 貸付件数	償還 件数	延滞利子 他免除件数	現在 貸付件数
総合支援資金	0	0	0	0	0
生活支援費	0	0	0	0	0
福祉資金	6	0	1	0	5
更正資金	3	0	0	0	3
障害者更正資金・生業費	1	0	0	0	1
障害者更正資金・生技能習得費	0	0	0	0	0
住宅資金	1	0	0	0	1
障害者自動車入資金	0	0	0	0	0
冠婚葬祭費	0	0	0	0	0
就職等支度費	1	0	1	0	0
緊急小口資金	0	0	0	0	0
教育支援資金	12	1	2	0	11
教育支援費	4	0	1	0	3
就学支度費	8	1	1	0	8
合計	18	1	3	0	16

★2 生活困窮者一時立替金（財源:社会福祉基金）

つるぎ町に居住し、公的保護または補助などを受けておらず、生活に困窮していると認められる者に対して生活費の一時立替を行う。財団法人つるぎ町社会福祉基金の解散に伴い、残余財産の寄附を受けて事業を引き継いだ。

(1) 生活困窮者に対する金銭の一時立替

- ア. 一時立替 8件 330,000円（令和元年度中の実績）
- イ. 償還済額 38件 394,000円（令和元年度中の実績）
- ウ. 徴収不能 10件 402,000円（令和2年3月9日 理事会で承認）
- エ. 償還残額 22件 1,093,500円（累計：令和2年3月末現在）

3 災害等被災見舞金（財源:社会福祉基金）

今年度の災害等被災は、ありませんでした。

4 小規模災害見舞金の交付（財源:善意銀行）

今年度の災害は、ありませんでした。

5 日常生活用具貸与料金等助成

今年度の助成実績は、ありませんでした。

在宅福祉サービス部門

在宅での生活を継続していけるように支援する

重点目標に対する総合評価

利用者さまへのアンケート調査を行い、明らかになった課題を業務改善につなげました。ご本人・ご家族のニーズを丁寧に把握して情報共有する中で、各事業を展開しています。

困難ケースへの対応や採算が確保できない地域でも最後の砦としてサービス提供を継続しています。

研修会への参加や定期的な勉強会等を行い、サービスの適切な提供及び質の向上を図っています。

1 居宅介護支援

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	54	54	52	51	51	52	51	52	48	47	48	52	612

(2) 介護予防支援事業（地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	30	32	30	30	32	33	35	35	36	36	37	36	402

(3) 認定調査：認定調査員による訪問調査

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	8	10	9	9	4	5	8	11	4	8	4	11	91

2 居宅訪問介護

(1) 介護保険事業

① 居宅介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	31	31	31	29	29	29	27	27	19	23	25	23	324
利用回数	377	366	352	383	347	331	346	334	307	267	273	282	3,965

② 第一号訪問事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	53	54	57	57	56	55	55	51	50	49	50	48	635
利用回数	313	310	316	352	307	298	321	281	275	259	252	297	3,581

(2) 障がい福祉サービス事業

① 居宅介護・重度訪問介護サービス：障がい者へのヘルパー派遣

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	7	9	9	10	10	11	11	10	10	10	10	10	117
利用回数	74	92	110	120	107	115	110	105	110	80	78	97	1,198

② 行動援護サービス：知的・精神の障がい者への外出時における必要な援助

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	6
利用回数	0	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	7

3 受託事業

(1) 家族介護者交流事業（町受託事業）

① 家族介護予防教室

日 時：令和元年12月5日（金）10：00～13：00

内 容：食中毒予防～健康を維持する食事～

講 師：つるぎ町保健センター 管理栄養士 逢坂 祐紀 氏

参加者：7名

② 日帰り研修旅行

令和2年3月6日（金）やすらぎの郷 四国健康村を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となっています。